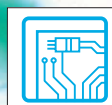


最先端LSI を正しく動かすための 電源回路設計

特集

～低電圧・多電圧・大電流への対応法と設計事例～



ボードの記事



システムの記事



Contents

第1章

低電圧・多電源化に対応する回路設計技術と部品選択法

——最先端LSIを使うために求められる電源システムを考える

月元 誠士

第2章

最先端FPGA/CPU搭載ボードの電源回路設計事例

——Spartan-3, Cyclone, PowerPCを動かす

井倉 将実

Appendix

オンボード電源規格表

河合 孝

最近のLSIでは、1V台の電圧が電源として使われるようになりました。しかもLSIの大規模化と高性能化、さらに90nmプロセスにおけるリーク電流の問題などがあり、消費電流は増える傾向にあります。また、複数の電源を必要とするLSIも珍しくありません。このため、電源回路に関するトラブルが増えはじめています。本特集では、低電圧化による問題の原因を明らかにし、最新LSIを正しく動かす電源システムの設計法を解説します。